

工業用水道事業に給水する場合（上水受水）の料金について

水道料金は見直しの検討を始めたところですが、この工業用水道事業に給水する場合（以下「**上水受水**」といいます。）の料金は、工業用水道事業の施設更新と料金制度のあり方とともに検討を始め、令和6年9月の市議会に議案として提出しました。

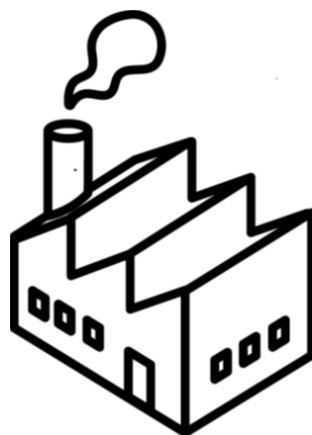
工業用水道事業って何？

飲み水の水道水と違い、工場で洗浄や冷却に使うための水を供給しているのが工業用水です。

主に臨海部で使われていますが、市内の工場など55の使用者に水を届けています。（R6.8.31現在）

ダムなどから運ばれた水を水道水よりも簡単な処理をして供給します。その分水道水よりも料金は安くなります

飲むわけじゃないから



なんで工業用水道事業に 給水しているの？

工業用水はダムや川や地下水を水源にしていますが、高度経済成長期に水の需要が高まったことから水源が足りなくなり、昭和49年に水道水を水源として供給することになりました。

現在の水源の内訳（1日当たり）

ダム 約24万 m^3

多摩川 20万 m^3

地下水 5万 m^3

水道水 4万 m^3

この4万 m^3 が、
上水受水に当たります



私も水源です

違和感あるねー



どうやって工業用水道事業に 給水しているの？

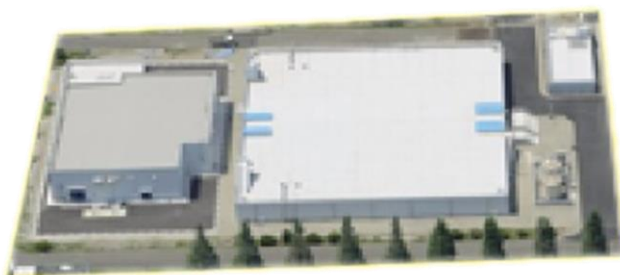
平間配水所という工業用水を各使用者へ送るための施設に4万m³全部を給水しています。

長沢浄水場



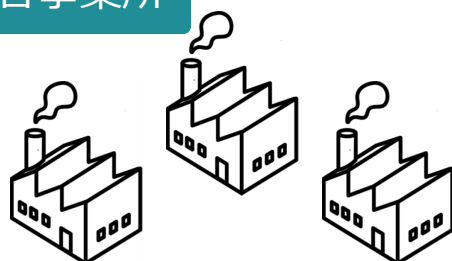
水道水

平間配水所



工業用水

各事業所

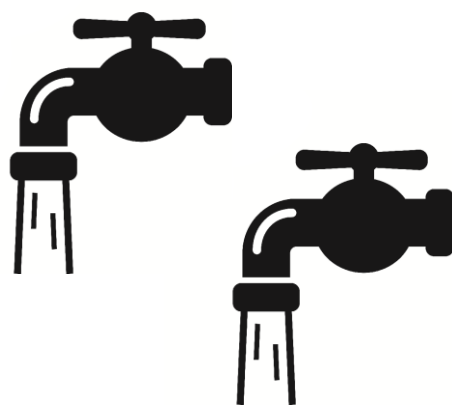


上水受水の料金をなぜ見直したの？①

工業用水道事業は昭和12年から開始していることで施設が老朽化しているため、浄水場や大きな送水管など大規模な更新工事を予定しています。

送水管を工事するときに断水すると、使用者に供給する水が足りなくなります。上水受水は送水管を使わないので、上水受水の量を増やせばその分を補うことができます。

ワタシも
使ってください！

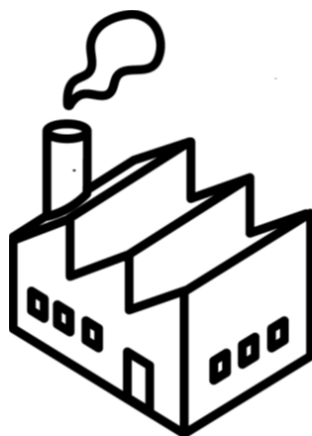


上水受水の料金をなぜ見直したの？②

上水受水の料金は、大口の水道料金に合わせた高い単価の設定になっています。上水受水の量を増やすとそれだけ支払う料金が増えていきます。

また、定量4万 m^3 （1日）が条件となっているので、それ以上使う場合を想定した料金設定になっていません。

ハウマッチ



上水受水の料金はどうするの？

工業用水道事業は、施設をダウンサイジングし、その分少ない収入でやり繰りしていかなければならないところ、支出が増えると余計に厳しくなります。

その点も踏まえ、もともとの料金の設定を見直し、一般の大口の使用者に合わせるのではなく、水道事業が損をしないよう最低限の経費分を料金として設定することにしました。

1m³当たり

現行

185円



原価ですな

新料金案

基本料金

94円

使用料金

10円

超過料金
(4万m³以上)

39円

水道事業の収入はどうなるの？

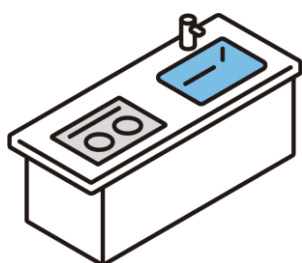
水道事業は320億円ほど収入がありますが、そのうち12億円ほど減収になります。

すぐに料金を変えなければいけないほどの金額ではありませんが、物価高騰や今後の水道事業会計の見通しを考えると、影響がないとはいえません。

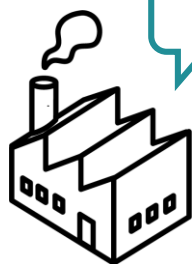
水道事業も水需要が減っており、特に大口の使用量の使用量が減っています。

こういった傾向を踏まえ、現在、水道料金制度のあり方等について見直しをしているところです。

こっちは12億減るって



工水事業なんか、
収入20億近く減って
50億になるらしいよ



上水受水の料金を先に決めるの？

今回の見直しは、工業用水道の施設更新に併せて行うもので、そのために今後さらに活用する上水受水をどうするかについては、施設更新前に決めなくてははいけません。

上水受水の料金は、水道事業が損をしないよう必要な経費をきちんと見込んでおり、水道事業と工業用水道事業に与える影響を踏まえています。

一般の水道料金は、古い制度の見直しなど、今後しっかりとそのあり方を検討していきます。

